

雨洗風塵

中沢かつゆき 通 信

自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



自由民主党



自由民主党

市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！

熊本地震

4月14日21時26分M6.5、震度7の地震が発生しました。当初本震とされていましたが、4月16日1時25分M7.3、震度7の地震が本震と訂正されました。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたみなさんに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と復興を心から祈念いたします。東日本大震災から5年が過ぎ、被災地では復興が進められている中発生した熊本地震。かながわ自民党市町村議員協議会として、すぐに募金活動を始めました。東日本大震災の時、大船駅でたった一人で始めた募金活動でしたが、今回は多くの仲間と県内各地で募金活動をさせていただき、多くの「心」をお預かりさせていただきました。お預かりさせていただいた募金は、かながわ自民党でまとめさせていただき、直接被災地へ届けさせていただき

RESAS(地域経済分析システム)

経済産業省は自治体による地方創生の取組を情報面から支援するため、RESAS「地域経済分析システム」を提供しています。鎌倉市では従来、情報分析型施策はあまり行っておらず、外部発注による資料解析報告を中心としてきました。しかし、その情報量には限りがあり、各情報の秘匿性の観点からも十分な分析ができていませんでした。経済産業省が提供しているRESASは、誰でも利用できるのが特徴です。ブラウザが特定されてしまうということはありませんが、データ解析を誰でもできるという今後利用拡大が図られていくシステムです。

観光分析では、どの地域から鎌倉に観光に来ているか、観光客の国の割合なども出てきます。鎌倉の観光客は、平日・休日とも県内からの観光客割合が

ます。直後に被災地へ行こうと準備をしましたが、現地に確認をし、様々状況を勘案してしばらく被災地へ伺うことは控えることとしました。神奈川での募金活動等を積極的に行い、一日も早い復旧をお願いしていきたくと思います。

熊本県は、講演で伺ったことがあり、機内から見た阿蘇山の雄姿、聳え立つ熊本城など思い出深い地でもあります。阿蘇山の写真や崩壊した熊本城の石垣などの映像を見ますと、地震の被害の大きさを痛感しています。熊本県はいい温泉がたくさんあるところです。被害の少ない温泉も多くあると聞きます。復興へは、多くの方が熊本を訪れてくださることが大切です。できるだけ早い時期に、熊本へ行きたいと思ひます。

そして、復興となった熊本城も伺いたくと思ひます。

非常に高いことがわかります。また、都内からも非常に多くの方が鎌倉を訪れ、今までの観光政策をもう一度考え直していく必要があります。また、人口流入と流出では、今まで言われてきたことと違った様子も出てきます。人口分析では、今後人口減となっていますが、これには開発要素が入っていません。深沢地域の人口分析は今後の課題ですが、道路整備や公共施設整備において、迂回経路などの整備を検討していくうえで重要な要素となってきます。税金にても、従来言われてきていることと違ったデータも出てきます。大きな工場の撤退も増え、鎌倉市の産業構造も変化をしていく中、今後の鎌倉市の税金についての考え方も変える必要があります。RESASをもっと活用していきます。

防災等

災害時、避難所としているのは市立小中学校の体育館です。備蓄品も防災倉庫に備蓄しています。東日本大震災では、体育館に3,000人避難したところもありますので、現在の計画ではとても不足しています。さらに、おむつや粉ミルクについては、とても備蓄とは言えない状況です。鎌倉市の保育園は、5拠点園(材木座と稲瀬を入れて6園)を整備しています。この拠点園に、子供用おむつと粉ミルク、保存できる離乳食などを備蓄する「避難保育園」は整備できないか提案しました。民間保育園では、東日本大震災の時、独自に炊き出しを行った園があります。園児だけでなく、お迎えに来た保護者にも食事を提供しました。公立保育園の在り方の中で、考えていくべきことだと思います。公共Wi-Fiについて。昨年来総務省に要望し、12月補正予算で可決した市内Wi-Fi整備。熊本地震では、現地の状況がSNSなどを通じて発信されました。災害を防ぐためMtoM整備については以前質

問しましたが、予算がなかなか確保できないということでまだまだ進んでいません。しかし、市内のWi-Fi整備は、2020年に向けて増えていく観光客が通信を利用して観光地へ行き、情報を得ていくという今では当たり前のことができるということになります。

消防車両については、近年国からの補助金がなかなか受けられない中更新している、ということがあります。予算提出時には国からの補助金額が記載されていますが、実際は不採択事業が多い実態が明らかに。鎌倉市単独でできる事業は限られています。国や県の補助金を活用して大きな事業を行っていかなくてはなりません。鎌倉市は、補助金に申請をして特に陳情などは行っていません。やはり、全国の自治体がそうであるように、積極的に国や県に働きかけ、補助金や交付金の獲得に動く必要があります。中沢は動いていきます。

中沢かつゆきの経歴

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業
東京電機大学理工学部情報科学科卒
温泉コンサルタント
大阪観光大学観光学研究所客員研究員
鎌倉中央ロータリークラブ副会長
材木座保育園保護者会会長
にかいどう子どもの家父母会会長
湘南獣医師会 顧問
鎌倉野球協会副会長
著書「安全な温泉・あぶない温泉」
(草思社刊)

鎌倉市議2期

二階堂在住

事務局：Tel 0467-61-0305

Fax 0467-24-5658

いじめについて

子供たちが卒業するとき、卒業文集を作ります。その卒業文集に、いじめられていた子供の文章が。同じ年代の子を持つ親としてとても、涙なしには読むことができません。なぜいじめがなくなるのか。教育委員会や議会は、とかく数で語ります。でも、一人一人の子供に向き合わなくてはなりません。教育委員会も市長部局も議会も、真剣にいじめをなくさなくてはなりません。教育大綱を策定していく会議の中、現教育委員長の発言議事録を見て驚きました。いじめについて、コミュニケーション能力が備わっていないから、ゆがんだ不愉快な人間関係に巻き込まれる、と発言。いじめは、どんな理由があろうともいじめた側が悪い。前教育委員長はいじめに真剣に向き合ってくださいだけに、残念な発言。いじめに対する姿勢をもう一度改めてほしいと思います。

ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？

* 中沢かつゆきは温泉コンサルタントでもあります *



黒川温泉：熊本空港から1時間半ほどで、黒川温泉。山間の鄙びた温泉街として、若い女性を中心に大人気となっています。アクセスの悪い温泉地として、なかなか客足が伸びなかった時代もありますが、今ではなかなか予約が取れない温泉地として人気を博しています。これは、「黒川温泉」にしかない、ということ徹底的に続けているからです。どんなにアクセスが良くなくても、行きたい、と思う温泉。風景、おもてなし、風情、食事など。泉質は各宿で違ってきます。単純泉から炭酸水素系、塩化物泉系から硫化物泉系まで多岐にわかります。温泉療養の一つは、転地療養。日常から離れて別の場所でゆっくり過ごす。そこに様々な泉質を楽しむ。入湯手形は、30年以上前から発行しています。一番の贅沢は、自然。都会に時間に追われる日常から離れて、アクセスが良くないことが贅沢。新緑から夏にかけて新鮮な空気を満喫できます。熊本地震では、被害が出た宿もあるようです。被災地復興へ、ぜひ熊本県の温泉へ。
<http://www.kurokawaonsen.or.jp/>